

2018年度(平成30年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

<学校用>

校番(71)番 福山市立千年小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	表現力	主体性・積極性	思いやり	自らへの自信
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童の姿)	○相手意識をもってわかりやすく書き、述べる。 ・具体的な事実を挙げて述べる。 ・比・たり、まとめたりして考えたことを要点をまとめて述べる。	○まわりのことを考え、見通しをもって進んで取り組む。 ・自分の役割以外の仕事にも積極的に取り組む。 ・自主勉強(予習など)を進んで行う。	○相手を思いやり、相手の立場に立って進んで人のために行動する。 ・かまぼっている友達を支えたり、応援したりする。 ・下級生の世話を進んでする。	○自分のよさや自信をさらに伸ばそうとし、周りにも働きかける。 ・できるようになったことを生活でも行う。 ・自分のよさを活かし、周りの人の役に立ちとする。

2 授業の現状

- ・国語科で表現力を育成し、その力を総合的な学習の時間等で活用させている。
- ・単元のゴールを示し、児童が主体的に学ぶ授業づくりをすることができた。
- ・表現力の中でも書く力を育成する授業づくりに課題がある。

転換

3 めざす授業の姿

- ・構成メモを使わせたり、表現の場をゴールに設定したりすることで、各学年に応じた表現力(書く力)を確実に身に付けさせる。
- ・身に付けた表現力(書く力)を活用して地域へ発信するような総合的な学習の時間の単元を創造する。

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> ・重点単元において、どのような表現力(書く力)を育成するのかを明確にし、ゴールのモデルを作成する。 ・書く場面では、構成メモを使って繰り返し文章を書かせる。 ・国語科で育成した表現力(書く力)を、どのように総合的な学習の時間で活用させるかを明確にし、地域に発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材研究の研修を年度始めに行い、どの学年もゴールのモデルを作成して授業に臨んだ。 △「1学期に目指す表現力」が身に付いた児童 教師評価74.5% ○児童アンケート「国語で身に付けた、書いたり話したりする力を、総合的な学習の時間にいかしている。」89.4% 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き重点単元において、どのような表現力(書く力)を育成するのかを明確にし、ゴールのモデルを作成する。 ・「1学期に目指す表現力」が身に付いていない児童への手立てを講じ、身に付けさせる。 ・国語科で学んだ書き方の掲示物等を残しておき、生活科や総合で書くときに掲示して、どの書き方が活かせるか選ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> △「1学期に目指す表現力」が身に付いた児童 教師評価75.4% ○児童アンケート「国語で身に付けた、書いたり話したりする力を、総合的な学習の時間にいかしている。」85.9% ○児童アンケート「国語・総合的な学習の時間では、解決しようとする課題について、『なぜだろう』『やってみよう』と考えている。」90.7% ○「子ども主体の学び」について授業観察を行ったり、研修を行ったりと、共通認識を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季休業中に「子ども主体の学びづくり」に関する研修を行い、それをもとに3学期から全教室展開していく。 ・「子ども主体の学び」を視点とした研究授業を行い、協議する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童アンケート「国語で身に付けた、書いたり話したりする力を、総合的な学習の時間にいかしている。」86.2% ○児童アンケート「国語総合的な学習の時間では、解決しようとする課題について、『なぜだろう』『やってみよう』と考えている。」89.2% ○各教員がそれぞれのやり方で「子ども主体の学びづくり」に取り組んでいる。 ○「子ども主体の学びづくり」を促進させるための議論何県で行い、来年度が学校としての取組を考えている。

5 取組の結果等

数値は2018年(H30年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

	A問題	B問題
国語	68.0(-5.0)	50.0(-9.0)
算数	56.0(-10.0)	41.0(-13.0)
理科	59.0(-4.0)	

「基礎・基本」定着状況調査(%) 2017年(H29年)

	タイプⅠ	タイプⅡ
国語	65.1(-6.4)	42.2(-10.2)
算数	78.2(+1.1)	56.0(-9.4)
理科	70.1(-0.3)	43.0(-8.0)

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(児童質問紙調査)(%)

内容	国語		算数		理科	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	32.8	40.3	35.8	34.3	59.7	22.4
学校が楽しい	80.6					

暴力行為発生率・不登校児童出現率(%) (2)月末現在

暴力行為	0	不登校	0.6
------	---	-----	-----

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 25/48	重点課題 ・立ち幅跳び	・20mシャトルラン ・ボール投げ	・20mシャトルラン 11月から週2回、5分間走を取り入れる。休憩時間に鬼ごっこなどの遊びを取り入れる。
(女子) 29/48	・50m走 結果 54(目標値63/96)		・ボール投げ 準備運動時にキャッチボールやの当て等、投動作用を取り入れる。休憩時間に「投」の遊びを取り入れる。

目標値	・「20mシャトルラン」を県平均かつ全国平均以上にする。 ・「ボール投げ」を県平均かつ全国平均以上にする。
-----	--

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	よく	当てはまる
仕事にやりがいを感じている	0	69.2
仕事に充実感がある	0	84.6

児童生徒アンケート(%)

質問項目	当てはまる	少し
授業で考えることが面白い	83.6	16.4
自分の考えは、認められている	77.4	22.6